

ご使用前に「MS・Li-Poバッテリー」、及び「MS・Li-Po セーフティチャージャー」
双方の取扱い注意・説明書と併せて、最後まで必ずお読みください。

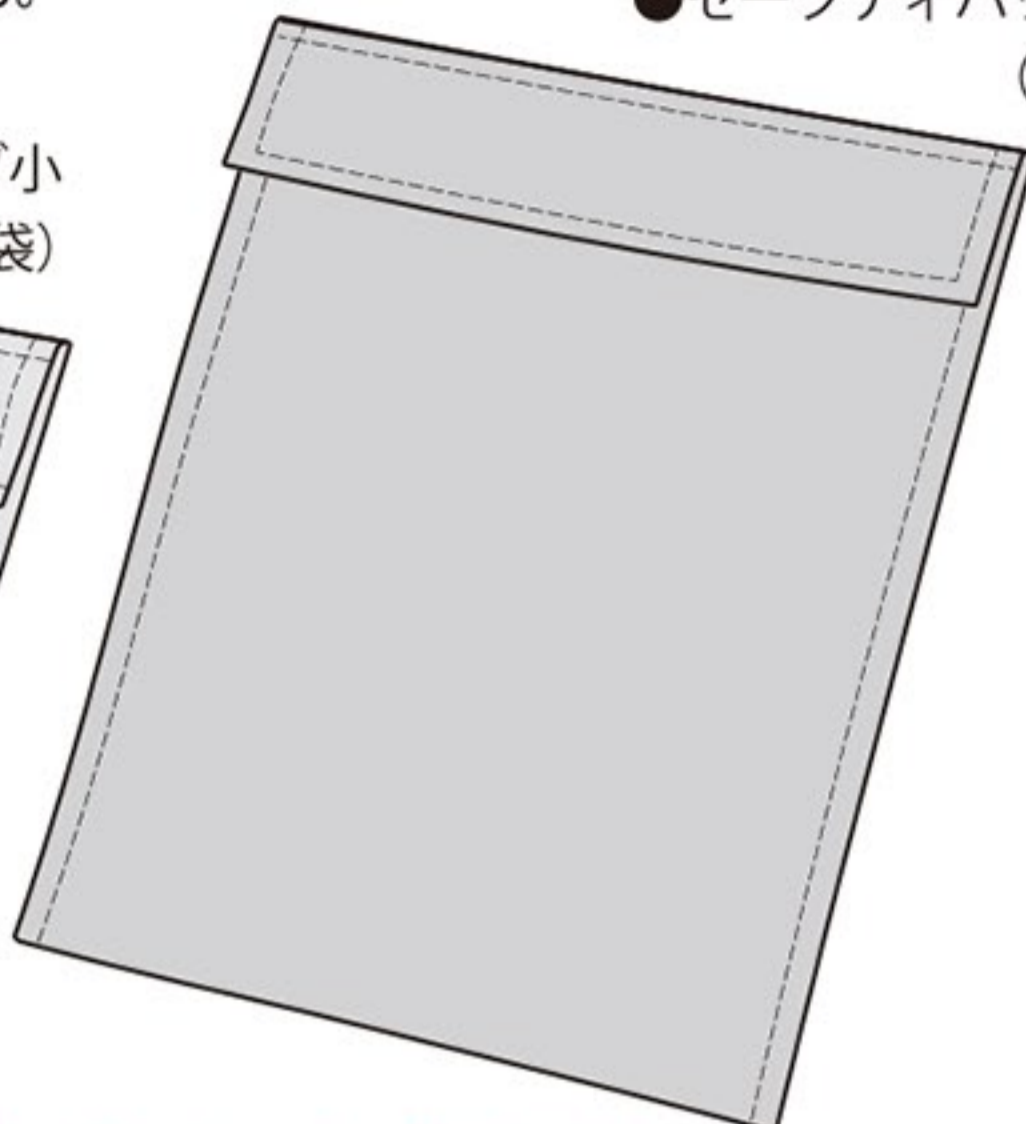
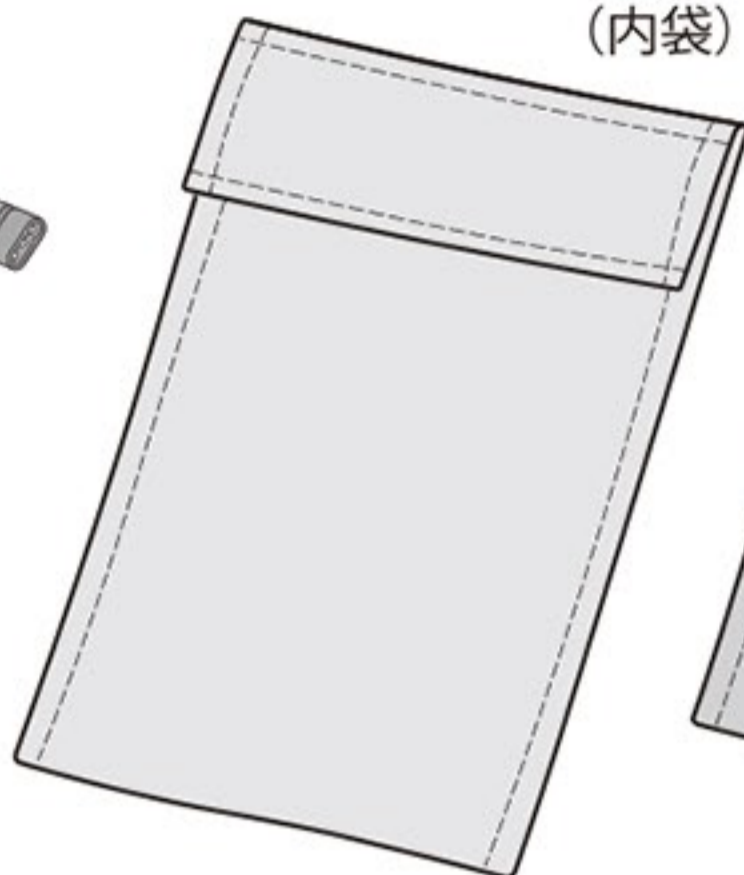
1 セット内容

※単体での個別販売は行っておりません。

●セーフティバッグ大
(外袋)

●セーフティバッグ小
(内袋)

●延長ケーブル
(バッテリー充電用)



※セーフティバッグ小(内袋)をセーフティバッグ大(外袋)の中に入れ、セットで使用します。

2 バッテリー充電時に使用する場合のセット方法

① バッテリーコネクタに
延長ケーブルを接続します。

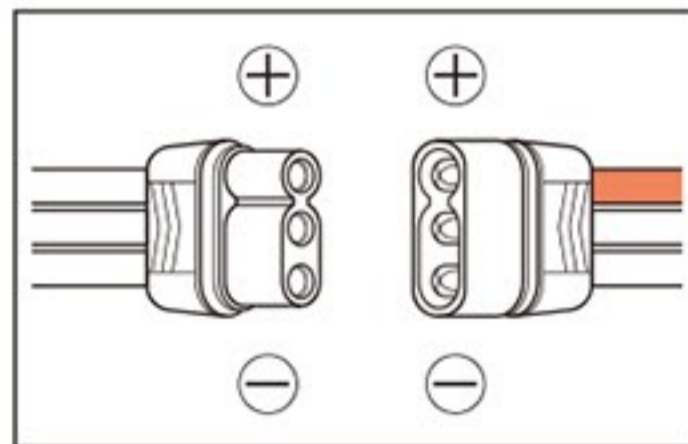
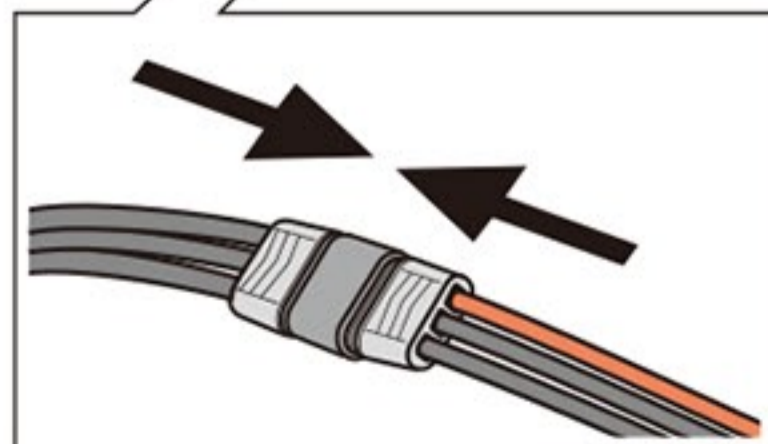
コネクタ

コネクタ

延長ケーブル

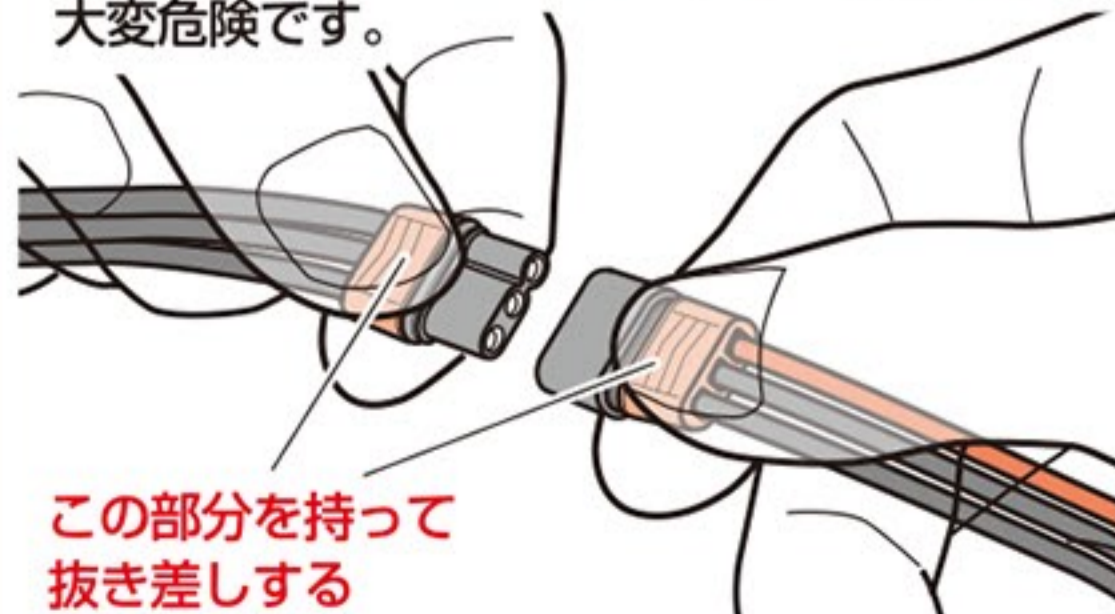
プラス・マイナスを合わせ、
しっかりと接続します。

MS・Li-Po バッテリー(別売)



プラス・マイナス、コネクタ形状
を間違えたまま無理に差し込まない
こと。ショートの原因になります。

警告 コネクタの抜き差しは、必ず図の
ように■部分を持って行うこと。
ケーブルや被覆を引っ張ると芯線が剥き出し
になる場合があり、ショート等の原因となり
大変危険です。



この部分を持って
抜き差しする

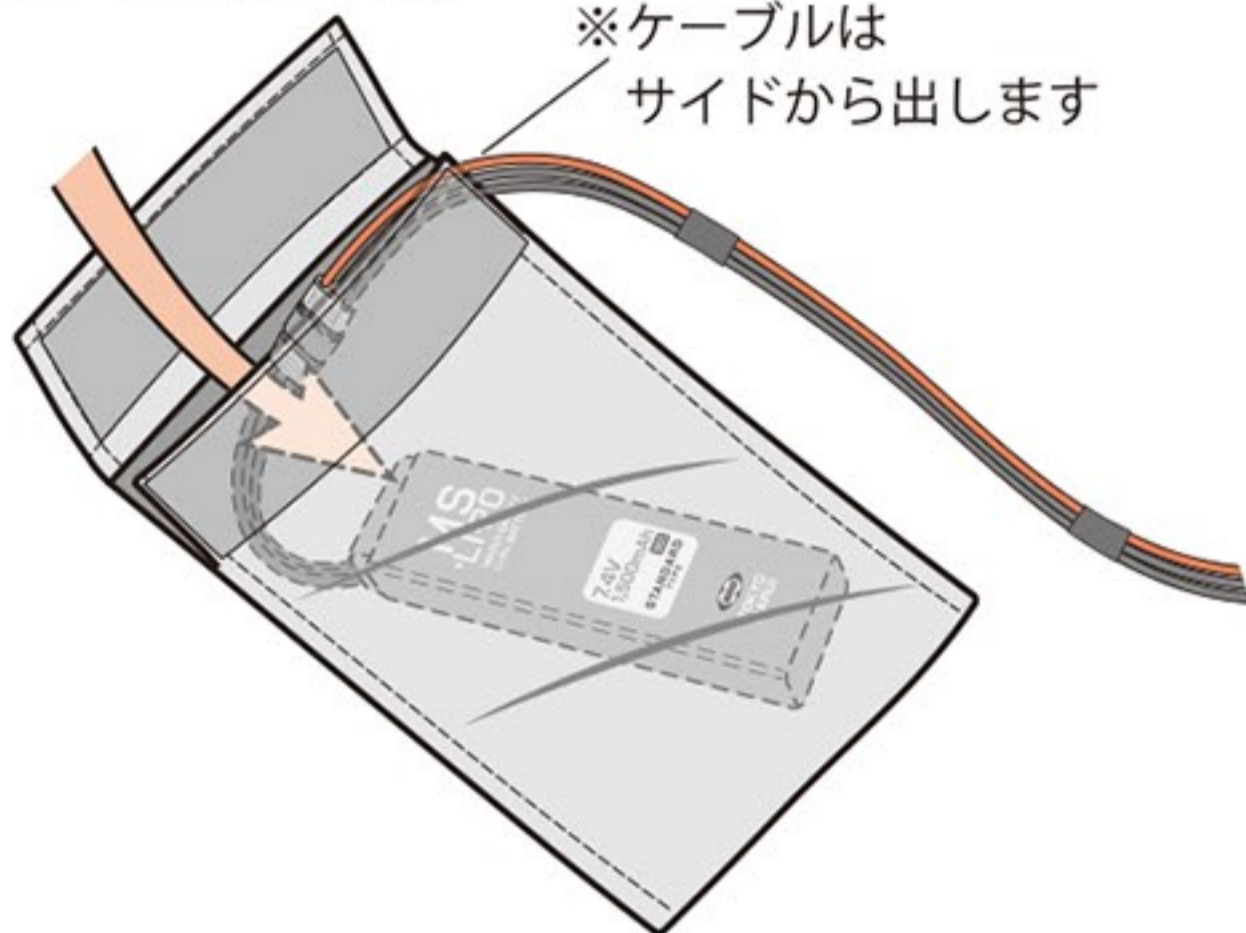
〈取扱い説明書〉

2 ② バッテリーをセーフティバッグ小(内袋)に入れます

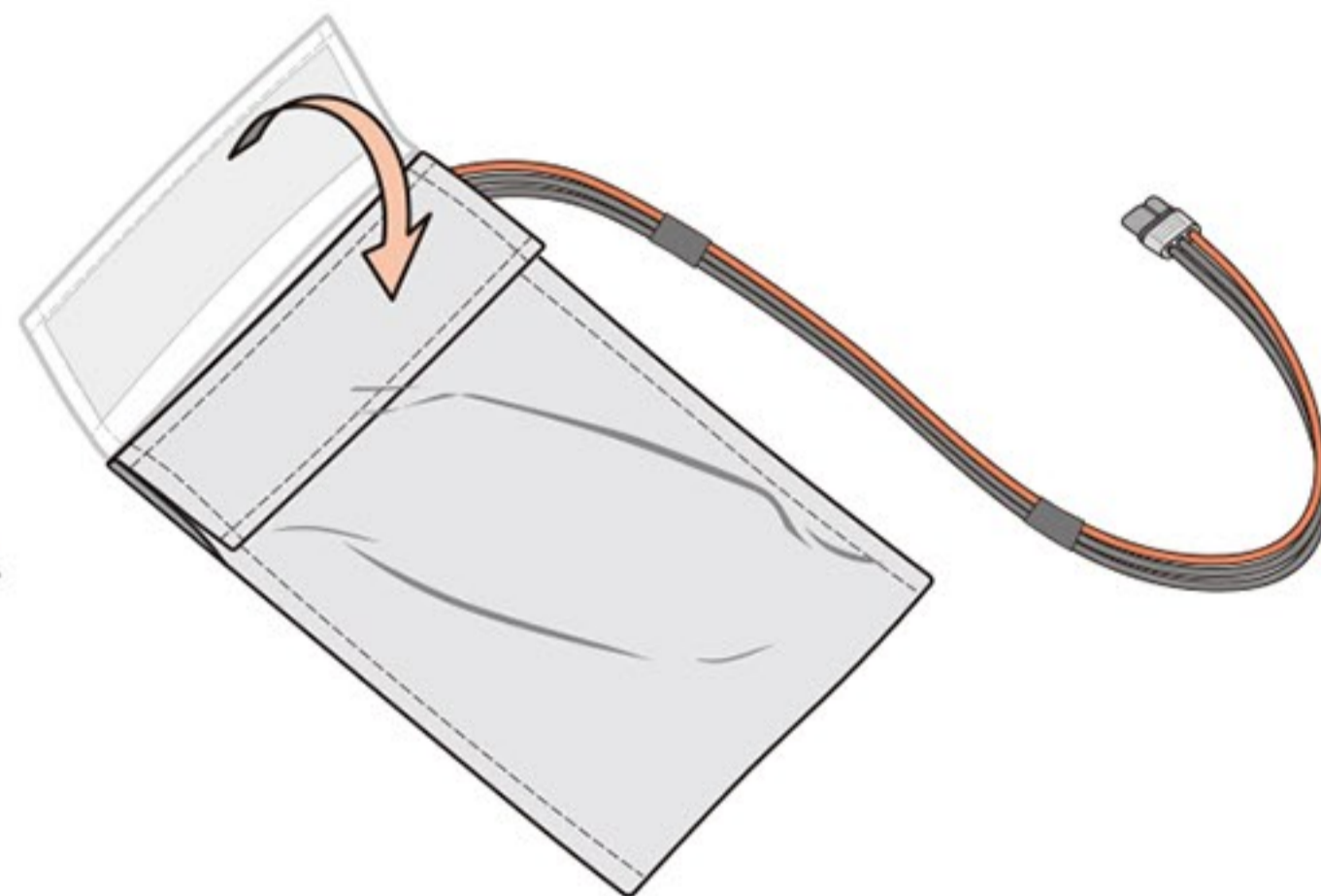
- ①セーフティバッグ小(内袋)の口を開けて
下図のようにバッテリーを入れます。

バッテリーの向きは
図のようにコネクター側
を上にして入れます。

※ケーブルは
サイドから出します



- ②マジックテープで袋の口を
ズレなくしっかり閉じます。



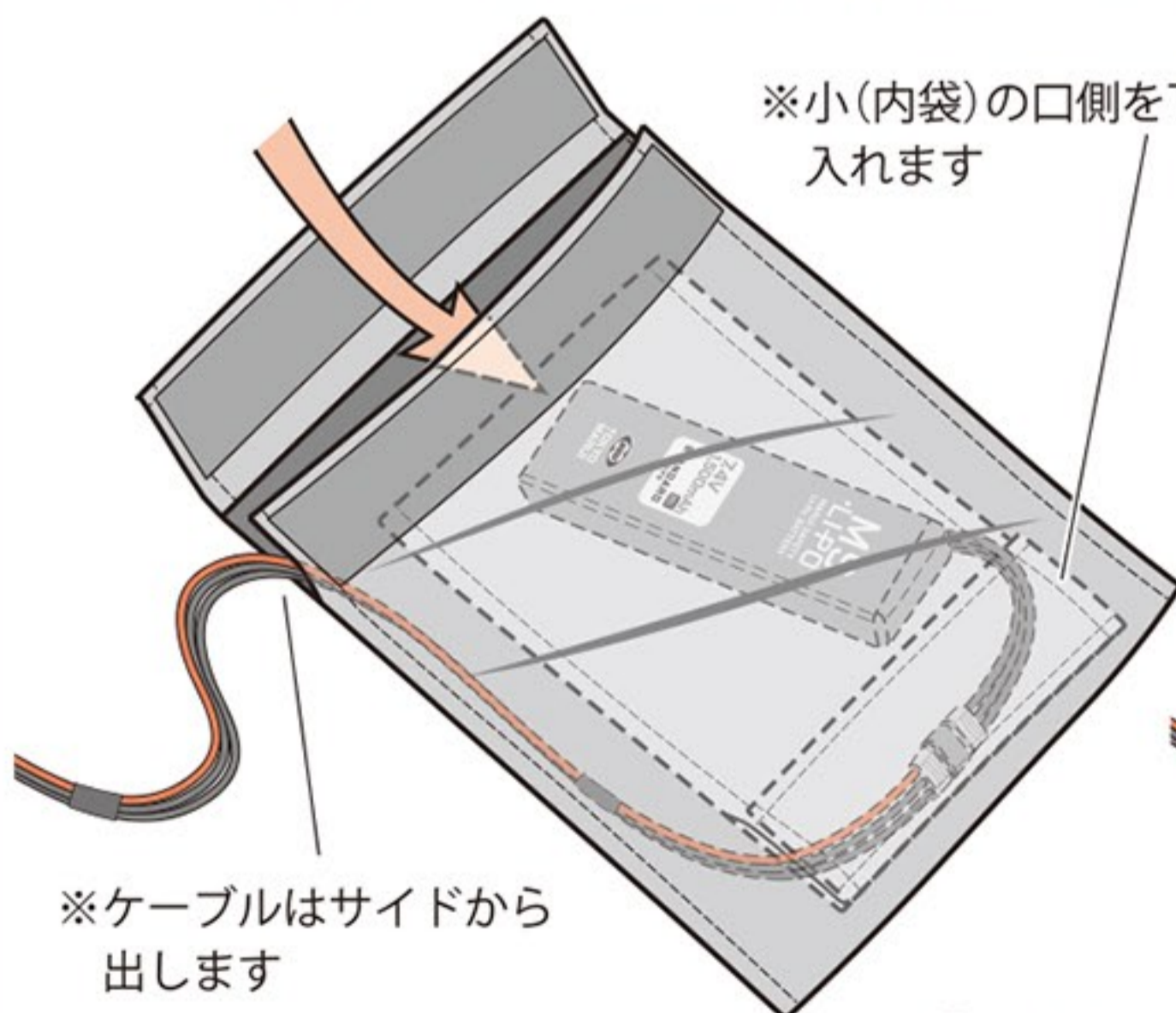
! 危険防止のためセーフティバッグ1セットにつき1本でご利用ください

2 ③ セーフティバッグ小(内袋)を 大(外袋)に入れます。

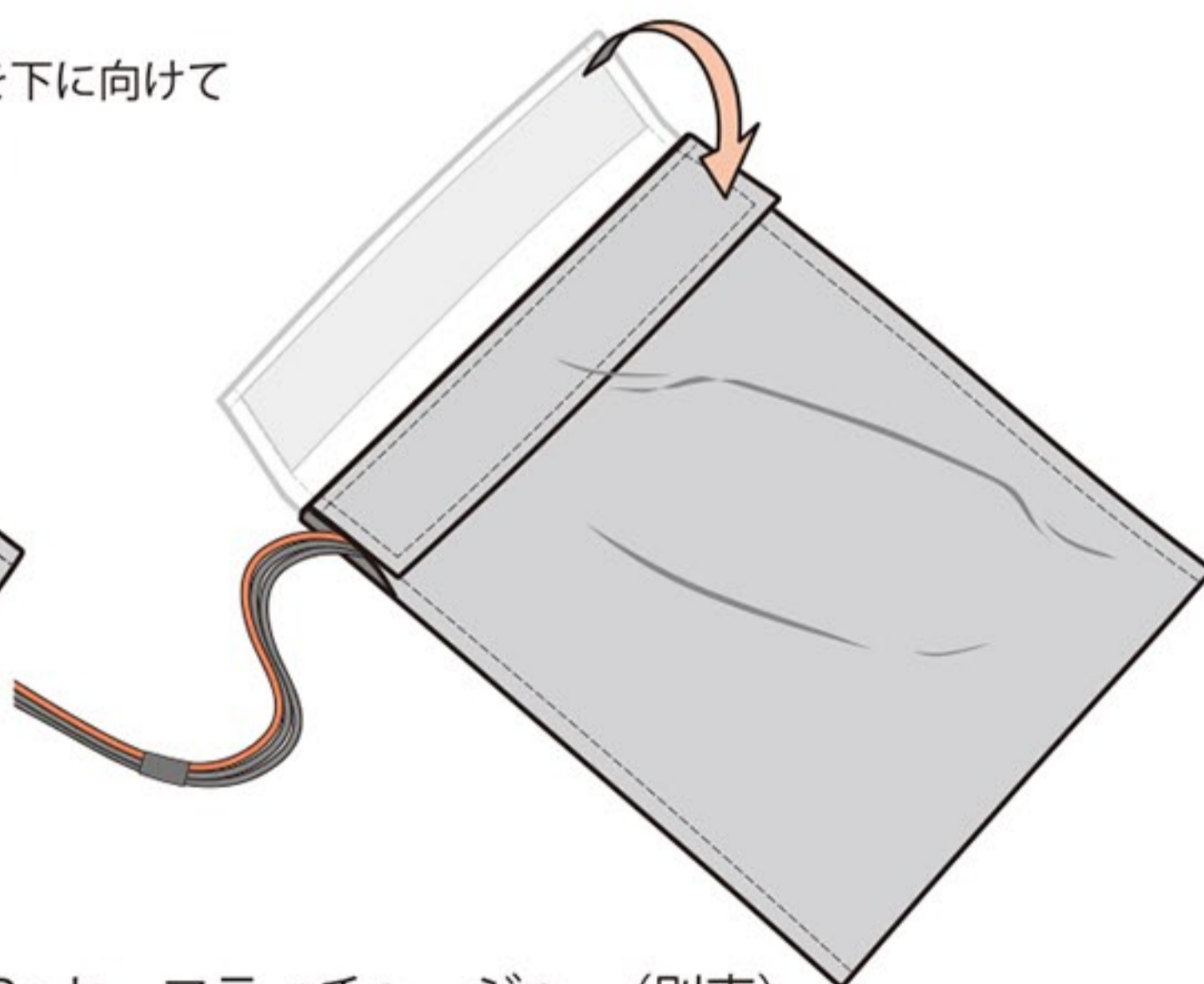
- ③セットしたセーフティバッグ小(内袋)の口側を
下にしてセーフティバッグ大(外袋)に入れます。

- ④マジックテープで袋の口をズレなく
しっかり閉じてセット完了です。

※小(内袋)の口側を下に向けて
入れます



※ケーブルはサイドから
出します



- ⑤MS・Li-Poセーフティチャージャー(別売)
の説明書に従って充電、ストレージモードを開始します。

! 万が一発火した場合、袋の入口からの炎の噴き出しを防ぐために、袋は必ず2重にご使用ください。その際セーフティバッグ小(内袋)は、口側を下向きに入れてください。

! 発火がセーフティバッグ内で収まった場合でも、じゅうたん、敷物、床等への高熱による焼け焦げや損傷が考えられますので充電、ストレージモード時、保管時はそれらの上に置かないようにしてください。

充電/放電中に発煙・発火が発生した場合の対処について

- 自身及び周囲の安全を確保した上で、安全に取り外しが可能な場合は、コンセントからACアダプターを取り外し、周囲に可燃物がある場合には、すぐに可燃物を離れた場所に移動させます。
- 万が一、セーフティバッグから発火している場合は大量の水をかけ、消火すると共に 119番通報を行ってください。

⚠注意 室内で発火し、炎が発生した場合、排煙・換気のための窓開けは空気・風の流入による延焼の可能性があります。換気のための窓開けは慎重に行ってください。

※一度発煙・発火したバッテリーは絶対に充電器や銃に取り付けての使用は行わないでください。

※発煙・発火したバッテリーは、各地方自治体の規則に従って処分してください。

●MS・Li-Poバッテリーを長く安全に使用するためのアドバイス

できるだけ満充電状態を維持しないように使用する。

充電後はすぐに使用する。使用しない場合はストレージモードを行った上で保管する。

Li-Po バッテリーは、満充電状態が最も内部で化学反応が起こります。使用直前に充電し、充電後はすぐに使用するのが理想的です。使用しない場合は、専用充電器でストレージモードを行った上で保管するようにしましょう。

できるだけ満充電状態を維持しないように使用するのが Li-Po バッテリーの劣化を抑え、長持ちさせるポイントです。

満充電から過放電防止機能が作動する下限電圧までを頻繁に使い続けない。

バッテリーの寿命を短くする原因となります。

過放電防止機能が作動する前に使用を中止し、充電するようにしましょう。

使用しない場合は、専用充電器でストレージモードを行った上で保管するようにしましょう。

満充電状態で高温下（40℃以上）に放置はバッテリー膨れの原因に。

一度膨れたバッテリーは元に戻らず、本来の性能を発揮できなくなります。

Li-Poバッテリーの膨れの原因は、満充電状態で高温下（40℃以上）に放置した場合が多くを占めます。たとえ、1～2日程度でも膨れが発生する場合があります。性能の維持と安全に使用していただくためにも、使用しない場合は、専用充電器でストレージモードを行った上で保管するようにしましょう。

※ニカドバッテリーは、一度完全に放電した後に充電することで、充電容量を回復できるリフレッシュと呼ばれる行為がありますが、Li-Po バッテリーは一度劣化してしまうと、リフレッシュなどで容量を回復することはできません。

※膨れたバッテリーは発煙・発火の危険があります。使用や放置をしないで適切に処分してください。